

プレスリリース

2014年10月24日

クレディ・スイス、2014 年度「グローバル・ウェルス・レポート」

日本についての分析

- 世界の家計の富の総額は前年比 8.3%増加し、2014 年央に 263 兆ドルに到達
- 日本の家計の富の総額は前年比 2.0%増の 23.2 兆ドルとなり、世界第 2 位の座を維持

クレディ・スイスはこの度、世界の富に関する包括的な調査分析レポートである「2014年度グローバル・ウェルス・レポート」を発表しました。今回で第5版となる本レポートによると、世界経済が依然として厳しい状況にありながらも、世界の家計の富の総額は2013年央から2014年央までの1年間に現行米ドル為替ベースで8.3%増加し、263兆ドル(約28,141兆円)となりました。2014年央時点でのアジア太平洋地域の家計の富は前年比で3.4%増加し74.9兆ドル(約8,014兆円)となり、日本の家計の富の総額は、資産価格が再び上昇に転じたことと、この期間において対米ドルでの円安進展がスローダウンしたことを受け、前年比で2.0%増加しました。

日本の家計の富に関する主な調査結果:

- 日本の家計の富の総額は、2013 年央から 2014 年央までの 1 年間、国内株式市場が回復傾向に向かったことに加え、この期間中の為替の変動が比較的穏やかだったこともあり、2.0%の増加となりました。日本銀行が積極的な金融緩和策を打ち出し、デフレ圧力からインフレ環境への転換を図ったことで国内のインフレ率はプラスに転じ、このことが資産価格の上昇を支える結果となりました。日本銀行と米連邦準備制度理事会 (FRB) との金融政策の方向性の違いから米ドルに対する円安傾向が徐々に強まり、国内景気の浮揚への期待値が高まりました。
- 日本において総額 100 万ドル以上の富を有する富裕層の数は、2014 年に 91,000 人増加して 273 万人となり、米国に次いで世界第 2 位の座を維持しています。さらに、富の総額が 5,000 万ドルを超える超富裕層は 2,887 人、1 億ドル以上の富を有する個人は 857 人となっています。
- 世界の富は今後 5 年間で 40%近く拡大し、2019 年には 369 兆ドル(約 39,483 兆円)に達すると見られています。日本は穏やかな経済成長とインフレによって、家計の富の総額が 2014 年の 23.2 兆ドルから 2019 年には 24%増加し、28.8 兆ドルに達すると予想されます。
- 世界の 100 万ドル以上の富を保有する富裕層の数は、2014 年から 2019 年までの 5 年間で 53%増加し、2019 年には 5,310 万人に達すると予想されます。日本の 100 万ドル以上の富を保有する富裕層の数は 2014 年から 2019 年までの 5 年間で 74%増加し、474 万人になると予想されます。これは、日本では家計の富の総額が 100 万ドル前後であるケースが多いことから、継続的な資産価格の上昇が 100 万ドル以上の富を保有する富裕層人口の大きな増加につながると予想されるためです。

注: 1ドル=107円で換算。

- 米国の家計の富は 2013 年央から大幅に増加し、2014 年央には 83.7 兆ドルとなりました。2019 年には家計の富の総額が 114 兆ドルを超え、依然として圧倒的な世界トップの座を維持すると予想されます。
- 世界の富に占める新興国の割合は 2019 年には 21%まで拡大し、中国単独での割合は、現在の 8%強から 10%近くまで上昇すると見込まれます。2008 年以降、新興国を中心に富の格差が世界的に拡大しており、富の不均衡が最も小さいのが日本とベルギーとなっています。特に日本は、国際基準で見た場合に比較的所得格差が小さく、ジニ指数は 63%となっています。日本では成人人口の 91%が 1 万ドル以上の富を有し、10 万ドル以上の富を有する割合が 54%と世界平均の 6 倍以上になっています。

クレディ・スイスのプライベート・バンキング & ウェルス・マネジメント調査部門のグローバル統括責任者であるジャイルス・キーティングは次のように述べています。「第 5 版となるクレディ・スイスのグローバル・ウェルス・レポートで、世界の富の総額は前年から 20.1 兆ドル増加して 263 兆ドルを突破したことが示されています。今年特に目立ったのが北米と欧州で、いずれも前年から 2 桁の伸びを示しています。一方、新興国の富は資産価格の上昇に歯止めがかかったことと為替圧力のため、伸び悩みを見せています。」

クレディ・スイス証券株式会社プライベート・バンキング本部のチーフ・インベストメント・ストラテジストである松本聡一郎は次のようにコメントしています。「今回のレポートでは、日本の家計の富の総額が、2013 年央から 2014 年央の 1 年間で 22.6 兆ドルから 23.2 兆ドルに増加したことが改めて確認されています。また、富裕層の数において、日本は依然として世界第 2 位の座を維持しており、向こう 5 年間でも 74%と世界平均の 53%を上回るペースで増加することが予想されています。」

クレディ・スイスは世界の家計の富に関し、信頼性の高い情報源から入手したデータを基に、最も包括的な情報を提供しています。本レポートでは最上位に位置するビリオネアから、他の研究レポートでは見逃されがちな富のピラミッドの中位や下位までを含め、世界 200 カ国以上、成人 47 億人を対象に分析を行っています。

2014 年版 グローバル・ウェルス・レポートの概要

2013 年～2014 年の家計の富の増減

本調査によると、2014 年央時点での世界全体の家計の富の総額は、現行米ドル為替ベースで 263 兆ドルに増加し、成人 1 人あたりの富の平均額も 5 万 16 ドルと過去最高の水準になりました。これは、資産価額が堅調に回復していることに支えられたものです。地域別にみると、北米および欧州がいずれも 11%程度の高い伸びを示し、世界全体をけん引しています(表 1 参照)。対照的に、ラテンアメリカの富の総額は、前年からほとんど変化しておらず、中国とインドを含めたアジア太平洋地域は、前年から 3.4%の増加に留まっています。日本の家計の富の総額は 2013 年央から 2.0%増加して 23.2 兆ドルとなりました。

表 1: 地域別の家計の富の増減(2013 年-2014 年)

地域	2014 年央の家計の富の総額 (10 億ドル)	増減額 (10 億ドル)	2013 年-14 年の増減率(%)
アフリカ	2,831	167	6.3%
アジア太平洋(中国、インドを含む)	74,857	2,432	3.4%
欧州	85,200	8,149	10.6%
ラテンアメリカ	9,113	-11	-0.1%
北米	91,240	9,370	11.4%
日本	23,172	466	2.0%
世界全体	263,242	20,108	8.3%

出所: Credit Suisse Global Wealth Databook 2014、James Davies, Rodrigo Lluberias and Anthony Shorrocks

成人 1 人あたりの富の中央値 上位 10 カ国の動向

成人 1 人当たりの富の中央値で見ると、2014 年央時点で最も中央値が高いのがオーストラリアで、日本は第 6 位、一方スイスは 8 位に下降しています。米国も順位を落として上位 10 カ国圏外となり、代わってベルギー、イタリア、フランスの欧州 3 カ国が上昇し、上位 5 カ国入りしています。

表 2: 成人 1 人あたりの富の平均額 上位 10 カ国(2014 年央)

順位	国	成人 1 人あたりの富の中央値(米ドル)	2013 年央からの増減率(%)
1	オーストラリア	225,000	4.9%
2	ベルギー	173,000	12.3%
3	イタリア	142,000	9.6%
4	フランス	141,000	1.3%
5	英国	131,000	16.1%
6	日本	113,000	2.7%
7	シンガポール	109,000	6.1%
8	スイス	107,000	10.4%
9	カナダ	99,000	3.2%
10	オランダ	93,000	6.3%

出所: Credit Suisse Global Wealth Databook 2014、James Davies, Rodrigo Lluberias and Anthony Shorrocks

富のピラミッドの頂点

個人の純資産額が 5,000 万ドルを上回る超富裕層(UHNW)は、世界全体で 12 万 8,220 人存在し、2000 年の 4 万 1,000 人から 3 倍に増加しています。このうち保有純資産額 1 億ドル以上が 4 万 5,000 人(2000 年は 1 万 4,000 人)、5 億ドル以上が 4,300 人(2000 年は 1,200 人)となっています。国別では、米国が 6 万 2,858 人と圧倒的に多く、世界の超富裕層の 49%が米国に居住していることとなります。その他、超富裕層の数は欧州が 3 万 1,400 人(24%)、アジア太平洋地域が 2 万 6,000 人(20%)で、日本に居住する超富裕層の数は 2,887 人で世界第 7 位となり、世界全体に占める割合は 2.3%となっています。

表 3: 国別の超富裕層の数(2014 年央)

国	超富裕層 (純資産額 5,000 万ドル以上の個人) (人)	世界合計に占める割合 (%)
米国	62,858	49.0%
中国	7,631	6.0%
ドイツ	5,548	4.3%
英国	4,660	3.6%
フランス	4,151	3.2%
イタリア	3,322	2.6%
日本	2,887	2.3%
ロシア	2,771	2.2%
カナダ	2,607	2.0%
オーストラリア	2,471	1.9%
スイス	2,434	1.9%
台湾	2,037	1.6%
ブラジル	1,940	1.5%
韓国	1,871	1.5%
インド	1,772	1.4%
スペイン	1,766	1.4%
香港	1,450	1.1%
スウェーデン	1,424	1.1%
トルコ	1,026	0.8%
シンガポール	691	0.5%
世界合計	128,220	100%

出所: Credit Suisse Global Wealth Databook 2014、James Davies, Rodrigo Lluberias and Anthony Shorrocks

日本のミリオネアは向こう5年間で74%増加の見通し

本レポートでは、世界で総額100万ドル以上の富を保有する富裕層の数が、2019年には5,300万人に達し、2014年との比較で53%増加し、およそ1,800万人ほど増加すると推計しています(表4)。国別では、米国が最も多くの富裕層を生み出すと予想され2019年までに約550万人の増加が予想されます。クレディ・スイスの推計では、日本の富裕層は2019年までに74%増加して474万人に達すると予測されます。今後5年間の富裕層の増加率は、世界全体で53%、北米地域で38%、欧州地域で62%と予想されており、日本はこれらを上回るペースで増加の見通しです。世界の富裕層全体に占める日本の割合は、現在の7.8%から2019年には8.9%に上昇すると予想されます。

2019年における新興国における富裕層の数は、依然として米国(2,000万人)や欧州(1,900万人)の水準には遠く及ばないものの、今後5年間で大幅に増加することが予想されます。2019年までに、マレーシアでは108%増加して7万9,000人に達すると予想されているのを始め、中国の富裕層の数は現在の2倍近い230万人まで増加し、韓国(71%)、インドネシア(64%)、香港(62%)、インド(61%)、シンガポール(50%)などの国々でも大幅に増加すると予想されています。

表4: 国・地域別ミリオネア数の増減(2014年~2019年)

国	2014年のミリオネア の人数(千人)	2019年の予想人数 (千人)	2014年~2019年 の増減率(%)
米国	14,166	19,705	39%
日本	2,728	4,740	74%
フランス	2,444	4,160	70%
英国	2,043	3,381	66%
ドイツ	1,964	3,242	65%
オーストラリア	1,252	1,717	37%
中国	1,181	2,292	94%
韓国	333	570	71%
ブラジル	225	332	47%
インド	182	294	61%
メキシコ	172	271	57%
シンガポール	167	250	50%
ロシア	158	203	28%
香港	102	165	62%
インドネシア	98	161	64%
トルコ	79	110	39%
ポーランド	50	89	79%
マレーシア	38	79	108%
地域	2014年のミリオネア の人数(千人)	2019年の予想人数 (千人)	2014年~2019年 の増減率(%)
アフリカ	144	279	93%
アジア太平洋	7,000	11,737	68%

欧州	11,780	19,056	62%
ラテンアメリカ	605	921	52%
北米	15,308	21,171	38%
世界合計	34,837	53,162	53%

出所: Credit Suisse Global Wealth Databook 2014、James Davies, Rodrigo Lluberias and Anthony Shorrocks

注記

- 「グローバル・ウェルス・レポート」では、金融資産と非金融資産(主に不動産)の合計から家計の負債を差し引いた額を「富」と定義しています。
- 本レポートに含まれる数字は、家計の資産および家計の負債について入手しうる最善のデータに基づいており、必要に応じて更新や推計が行われています。
- 2014年および2013年のデータはすべて年央時点のものです。それ以前の数値は各年末時点のデータに基づくものです。
- 特に標記のない場合、金額はすべて現行為替レートベースの米ドル建てで表示されています。
- 情報源や調査方法に関するすべての情報は「グローバル・ウェルス・データブック 2014」に記載されています。
- 2019年の予測値はクレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートが富、金融資産および非金融資産、負債の三要素の予想に基づいて算出したものです。

クレディ・スイスの「2014年版グローバル・ウェルス・レポート」の全文(英文)は、下記から入手できます。

<https://www.credit-suisse.com/ch/en/news-and-expertise/research/credit-suisse-research-institute.html>
情報源や調査方法に関するすべての情報は「グローバル・ウェルス・データブック 2014」に記載されています。

本件に関するお問い合わせ先

クレアブ・ギャビン・アンダーソン 電話:03-5404-0640

クレディ・スイスについて

クレディ・スイスは、世界有数の銀行として、プライベート・バンキング、インベストメント・バンキング、アセット・マネジメント事業を世界中で展開しています。アドバイザー・サービス、包括的なソリューション、革新的な商品を、世界中の法人および富裕層個人顧客、またスイス国内の一般個人顧客に提供しています。クレディ・スイスは、世界50ヶ国以上に拠点を持ち、約45,100人の従業員を有しています。クレディ・スイスの本拠地はチューリッヒで、世界各地にある複数の事業法人で構成されています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式(CSGN)はスイスおよび米国預託証券(CS)としてニューヨークで上場しています。日本語サイトは、<https://www.credit-suisse.com/jp/aboutus/ja/index.jsp>、グローバルサイトは、www.credit-suisse.com。

プライベート・バンキングについて

クレディ・スイスは、プライベートバンキング事業を通じて、世界中の富裕層および超富裕層のお客様に対し、包括的な助言と年金対策、生命保険商品、遺産相続など個人のニーズに合わせた資産運用のソリューションを提供しています。スイスでは、個人、企業、団体の顧客向けに銀行業務を行っています。